

1 単元名 「説明文テクニックガイド」を作って、説明のしかたの工夫を探ろう
教材名「天気を予想する」(光村図書5年)

2 単元の目標

- (1) 筆者の説明の仕方の工夫について関心をもち、文章と資料を関係付けながら、内容を的確に押さえて読もうとする。(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 文章と資料を関係付け、筆者の説明の仕方の工夫を捉えながら、文章の内容を的確に押さえて読むことができる。(読むこと)
- (3) 説明的な文章を特徴付ける語句と語句の関係を理解することができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 単元について

(1) 児童観

学級の児童に対して、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえながら読む力に関する実態調査(平成28年9月23日実施, 第5学年*組*人)を行った。調査では、文章と資料を関係付けて読む学習課題において、文章の中から資料に関係のあるキーワードを書き抜き、それを基に要旨をまとめさせた。その結果、文章の中から資料に関係のあるキーワードを書き抜くことができた児童は,*人, キーワードを基に、要旨をまとめることができた児童は*人, 両方できた児童は*人であった。以上のことから、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえることに課題があることが分かった。これまでの「読むこと」の学習では、文章構成に着目して要旨を捉えることに重点を置いた指導を行ってきたが、これからは、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえながら読む力を身に付けるために、筆者の意図を推論し、文章と資料を関係付けて、筆者の説明の仕方の工夫を捉えながら読む指導を行う必要があると考える。

(2) 言語活動とその特徴

本単元では、文章と資料を関係付けて筆者の説明の仕方の工夫をまとめる『説明文テクニックガイド』を作って、説明のしかたの工夫を探ろう」という言語活動を設定する。教材文「天気を予想する」で学習する筆者の説明の仕方の工夫について、文章と資料を関係付けて捉えた後、説明的な文章を読むための手引きである「説明文テクニックガイド」にまとめる。そして、「説明文テクニックガイド」を活用しながら、教材文「天気を予想する」と教師が用意した副教材文『十秒』が命を守る」の比べ読みを行い、筆者の説明の仕方の工夫に対する自分の考えをまとめる。これらの中で、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかみ読みすること。」(C読むことウ)を確実に実現できるようにしている。

(3) 教材観

本教材「天気を予想する」は、最初に文章全体を捉える大きな問いがあるのではなく、小さな問いがあって答えがある。それを3回繰り返す構成になっており、問いかけによって読者を引き付けながら筆者の主張へと導く手法がとられている。前半では、天気予報が科学技術の進歩や国際協力によって支えられていることが科学的データを基に述べられている。後半では、科学技術の進歩や国際協力によっても予測しづらい現象に触れ、それに対応するための手立として、人間の経験や知識の必要性について述べられている。その論の展開には、資料が効果的に使われており、筆者の説明の仕方の工夫を捉えることができる教材である。

(4) 指導観

本単元では、まず、文章構成や筆者の主張を捉えるために、既習の教材文である「アップとルーズで伝える」の文章構成を、文章と資料の関係に着目して表した「説明文テクニックガイド」のグッドモデルとして提示する。次に、児童が作成した「説明文テクニックガイド」を、筆者が資料を用いた意図やその効果を考える場面で活用させることで、文章と資料を関係付けて、筆者の説明の仕方の工夫を捉えながら読むことができるようにする。そして、教材文「天気を予想する」と、教師が用意した副教材文『十秒』が命を守る」の比べ読みを取り入れ、筆者の主張や説明の仕方の工夫について、自分の考えをまとめることができるようにする。このように、文章と資料を関係付けて説明の仕方の工夫をまとめる「説明文テクニックガイド」を活用する学習活動を設定することで、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて読む力を育むことができるであろうと考える。

4 単元の評価規準

| 国語への関心・意欲・態度 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の説明の仕方の工夫について関心をもち、文章と資料を関係付けながら、文章の内容を的確に押さえて読もうとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文章と資料を関係付けながら、文章の内容を的確に押さえて読んでいる。 Cーウ ・筆者の説明の仕方の工夫やその効果が表れている表現に気づき、読んでいる。 Cーウ | <ul style="list-style-type: none"> ・説明的な文章を特徴付ける語句と語句の関係を理解している。 イー(オ) |

5 単元の指導計画（9時間扱い）

| 次 | 時 | 学習活動・内容 | 指導上の留意点・評価規準（評価は㊦） |
|---|---|--|---|
| 一 | 1 | <p>「天気を予想する」を読んで感想を 発表し、学習の見通しをもとう。</p> <p>1 天気に関わる経験や、天気予報について知っていることなどを話し合う。</p> <p>2 教材文「天気を予想する」を読んで、初めて知ったことや、興味をもったことなどについて、話し合う。</p> <p>3 教材文「天気を予想する」と既習の教材文「アップとルーズで伝える」の資料の使われ方を比較する。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、単元全体の見通しをもつ。</p> <p>「説明文テクニックガイド」を作 つて、説明の仕方の工夫を探ろう。</p> | <p>○天気や天気予報に関する知識や経験を想起させることで、自分たちの生活と天気予報が密接につながっていることを実感できるようにする。</p> <p>○初めて知ったことや興味をもったところなどに線を引きながら読ませるようにすることで、天気に関する関心を高めていくようにする。</p> <p>○意味が分からない言葉をすぐに調べて確認することができるように、手近なところに様々な天気に関する資料や国語辞典を用意しておく。</p> <p>○既習の教材文「アップとルーズで伝える」と比較することで、本教材の特徴である様々な資料を使って説明するよさに着目させるようにする。</p> <p>㊦天気や天気予報について、自分の経験を進んで話し、興味をもって文章を読もうとしている。 (㊦ 発表、ワークシート)</p> |
| 二 | 1 | <p>文章構成には、どのような特徴があるのだろう。</p> <p>1 全文を読み、三つの問いの文と、それに対する答えの文を見付ける。</p> <p>2 筆者の主張を捉える。</p> <p>3 文章構成について、グループや全体で話し合い、まとめる。</p> <p>4 「説明文テクニックガイド」に筆者の説明の仕方の工夫をまとめる。</p> <p>・テクニック①「三つの問いと答えがあり、筆者の主張へと近づいていく。」</p> <p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p> | <p>○既習の教材文「アップとルーズで伝える」の文章構成や筆者の主張について振り返り、本時の見通しをもつ。</p> <p>○三つの問いと答えを見付けられるようにするため、既習の教材文「アップとルーズで伝える」の問いの文の基本的な文末表現に着目させるようにする。</p> <p>○筆者の主張を捉えやすくするために、既習の教材文「アップとルーズで伝える」の筆者の考えが書かれているところを確認する。</p> <p>○文章構成表を提示し、三つの問いと答えが順接的につながっており、筆者の主張に迫っていくことを押さえる。</p> <p>○文章構成表から、筆者の説明の仕方の工夫を一言でまとめるようにする。</p> <p>㊦文章構成や筆者の主張を捉えている。 (㊦ 発表、ワークシート)</p> |
| | 2 | <p>筆者はどのような意図で第1～3段落の資料を用いたのだろう。</p> <p>1 第1段落を読み、文章と「東京地方の降水の予報精度（5年平均）」の資料（表）を文章と関係付けて、分かることを全体で確認する。</p> <p>2 第1段落から、問い1を見付ける。</p> <p>3 第2、3段落を読み、文章と資料（写真や図）を関係付けて、分かることを読み取り、筆者が資料を用いた意図や効果について考える。</p> <p>4 グループや全体で話し合い、筆者が資料を用いた意図や効果について、まとめる。</p> | <p>○資料を除いた文章や文章の数値が間違っているものを提示し、資料を用いるよさについて実感できるようにする。</p> <p>○文章と資料（表）を関係付けることができるようにするために、資料（表）について説明が書かれているところを見付けて線を引き、文章を資料を結ぶことを説明する。</p> <p>○前時に学習した文章構成から、問い1を確認することで、的中率が高くなった理由が捉えられるようにする。</p> <p>○筆者が資料を用いた意図や効果について気付くようにするため、資料（写真や図）について説明が書かれているところを見付けて線を引くように指示する。</p> |

| | | |
|---|---|--|
| | <p>5 「説明文テクニックガイド」に筆者の説明の仕方の工夫をまとめる。</p> <p>・テクニック②「筆者の伝えたいことを分かりやすく表を用いて説明する。」 ・テクニック③「文章だけでは分かりにくいものを写真や図を用いて説明する。」</p> <p>6 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p> | <p>○児童が考えた資料の効果を整理し、筆者の説明の仕方の工夫を一言でまとめるよう指示する。</p> <p>㊦文章と資料を関係付け、筆者が資料を用いた意図やその効果に気付いている。 (圖 発表, ワークシート)</p> |
| 3 | <p>筆者はどのような意図で第4～6段落の資料を用いたのだろう。</p> <p>1 第4～6段落を読む。</p> <p>2 文章と資料(グラフや写真)を関係付けて、分かることを読み取り、筆者が資料を用いた意図や効果について考える。</p> <p>3 グループや全体で話し合い、筆者が資料を用いた意図やその効果についてまとめる。</p> <p>4 「説明文テクニックガイド」に筆者の説明の仕方の工夫をまとめる。</p> <p>・テクニック④「筆者の考えに説得力をもたせるためにグラフや写真を用いて説明する。」</p> <p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p> | <p>○前時の学習を振り返り、問い2と答え(理由と根拠)を確認することで、本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>○教科書の資料(グラフ)を表で表したものを提示し、筆者が資料を選んだ意図について考えながら読むように助言する。</p> <p>○文章と資料(グラフ)を関係付けて、「突発的な天気の変化」や「局地的な天気の変化」の根拠として挙げられている事実を読み取ることができるよう、ワークシートの内容を工夫する。</p> <p>○筆者が資料を用いた意図や効果について気付くようにするため、資料(写真や図)について説明が書かれているところを見付けて線を引くように指示する。</p> <p>○児童が考えた資料の効果を整理し、筆者の説明の仕方の工夫を一言でまとめるよう指示する。</p> <p>㊦文章と資料を関係付け、筆者が資料を用いた意図やその効果に気付いている。 (圖 発表, ワークシート)</p> |
| 4 | <p>筆者の考えの中心となる事柄(要旨)をまとめよう。</p> <p>1 今まで学習してきた筆者の説明の仕方の工夫をまとめる。</p> <p>2 筆者の主張から、大切な言葉に線を引く。</p> <p>3 筆者の考えの中心となる事柄(要旨)を書きまとめる。</p> <p>4 書いたものを基に、筆者の考えの中心となる事柄(要旨)についてグループや全体で話し合う。</p> <p>5 完成した「説明文テクニックガイド」を読み、次時の見通しをもつ。</p> | <p>○筆者の説明の仕方の工夫について振り返り、本時の学習に見通しをもつ。</p> <p>○前時まで学習してきた筆者の説明の仕方の工夫を一覧表にまとめて提示することで、必要に応じて活用できるようにする。</p> <p>○「説明文テクニックガイド」にまとめる目的をもたせながら、筆者の考えの中心となる事柄(要旨)を制限字数内で書くように指示する。</p> <p>㊦筆者の考えの中心となる事柄(要旨)を捉えながら読んでいる。 (圖 話し合い, ワークシート)</p> |
| 三 | <p>1 「『十秒』が命を守る」の「中」の段落を、文章と資料を関係付けながら、正しく並び換えて読もう。</p> <p>1 文章と資料を関係付けながら、正しい順序に並び換える。</p> <p>2 展開部(第6段落～15段落)について、正しく並び換えができたかどうかグループや全体で話し合う。</p> <p>3 資料2, 3, 4の段落の並び順について考え、話し合う。</p> | <p>○文章と資料を関係付けることのよさを教材文「天気を予想する」で振り返り、本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>○展開部を分割して配付し、文章と資料を関係付けながら読むように指示する。</p> <p>○つまづきが見られる児童に対して、「説明文テクニックガイド」を活用するよう助言する。</p> <p>○筆者はどのような意図で、資料を組み立てて提示しているのか理由を考えさせる</p> |

| | | |
|----------------|---|---|
| <p>本 時</p> | <p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p> | <p>ことで、筆者の説明の工夫を捉えさせるようにする。</p> <p>㊦ 文章と資料を関係付けながら、段落を正しい順序に並び換えて読んでいる。 (観 観察, ワークシート)</p> |
| <p>2</p> | <p>『『十秒』が命を守る』の説明の仕方の工夫を探ろう。</p> <p>1 副教材文『『十秒』が命を守る』の全文を読む。</p> <p>2 筆者の説明の仕方の工夫を見付ける。</p> <p>3 グループや全体で話し合い、筆者の説明の仕方の工夫についてまとめる。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p> | <p>○教材文「天気を予想する」における筆者の説明の仕方の工夫について振り返り、説明の仕方の工夫を見付けるための視点を示す。</p> <p>○『『十秒』が命を守る』の説明の仕方の工夫を捉えることができるようにするため、つまづいた時には「説明文テクニックガイド」を活用するように助言する。</p> <p>○筆者の説明の仕方の工夫を分かりやすくするために、付箋に書いた筆者の説明の仕方の工夫を分類し、整理していくよう指示する。</p> <p>㊦ 筆者の説明の仕方の工夫を捉えながら読んでいる。 (観 話し合い, ワークシート)</p> |
| <p>3</p> | <p>「天気を予想する」と『『十秒』が命を守る』を読んで、説明の仕方の工夫を比べよう。</p> <p>1 教材文「天気を予想する」と副教材文『『十秒』が命を守る』に使われていた筆者の説明の仕方の工夫を確認する。</p> <p>2 二つの文章を比べて、筆者の説明の仕方の工夫の共通点や相違点を見付ける。</p> <p>3 筆者の説明の仕方の工夫の共通点や相違点を話し合う。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、次時の学習の見通しをもつ。</p> | <p>○今まで学習してきた筆者の説明の仕方の工夫を振り返り、本時の学習が見通しをもって取り組めるようにする。</p> <p>○2種類の付箋を活用し、筆者の説明の仕方の工夫を整理しながらまとめられるようにする。(共通点…ピンクの付箋, 相違点…黄色の付箋)</p> <p>○付箋に筆者の説明の仕方の工夫の共通点や相違点を書くことで、様々な説明の仕方があることに気付くようにする。</p> <p>○「説明文テクニックガイド」を必要に応じて活用することで、筆者の説明の仕方の工夫を捉えるようにする。</p> <p>㊦ 筆者の説明の仕方の工夫について、二つの文章を比べながら読んでいる。 (観 話し合い, ワークシート)</p> |
| <p>4</p> | <p>説明の仕方の工夫について、自分の考えを書こう。</p> <p>1 筆者の説明の仕方の工夫の中で、自分でも使ってみたいテクニックを選ぶ。</p> <p>2 筆者の説明の仕方の工夫について、自分の考えを書く。</p> <p>3 書いたものを基に、グループや全体で話し合う。</p> <p>4 「説明文テクニックガイド」を活用しながら、副教材文『『十秒』が命を守る』を読むことができたか振り返る。</p> | <p>○教材文「天気を予想する」の筆者の説明の仕方の工夫について振り返り、本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>○これまでの筆者の説明の仕方の工夫を分類することで、自分でも使ってみたいテクニックに絞って書けるようにする。</p> <p>○友達の記事と自分の考えの共通点や相違点に着目しながら聞くことで、筆者の説明の仕方の工夫について、自分の考えを明確にすることができるようにする。</p> <p>㊦ 筆者の説明の仕方の工夫について、自分の考えをまとめている。 (観 話し合い, ワークシート)</p> |

6 本時の学習

- (1) 目標
文章と資料を関係付けながら、段落を正しい順序に並び換えて読むことができる。
- (2) 準備・資料
学習計画表，発表ボード，板書掲示物，ワークシート，説明文テクニックガイド，書画カメラ
- (3) 展開

| 学習活動・内容 | 指導上の留意点・評価（評価は㊦） |
|--|--|
| <p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>(1) 前時の学習を振り返る。</p> <p>(2) 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「『十秒』が命を守る」の「中」の段落を、文章と資料を関係付けながら、正しく並び換えて読もう。</p> </div> <p>2 学習の進め方を全体で確認する。 一人で→グループで→全体で→ふりかえり</p> <p>3 課題を自力解決する。</p> <p>(1) 文章の並び換えをする。</p> <p>(2) 文章と資料を関係付ける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・資料1 「地球には現在、十以上の『プレート』があり、それぞれがゆっくりとはありますが、別々の方向に動いています。</p> <p>・資料2 「海溝型地震」の場合、海洋プレートと引っしよに引きずりこまれた大陸プレートが、バネのようにね返って、地震が起きます。</p> <p>・資料3 地震のゆれとして伝わる波は二種類あります。</p> <p>・資料4 地震が起きると同時に、小さなゆれのP波と大きなゆれのS波が四方に広がり始めます。S波よりもP波のほうが伝わる速度が速いため、まず、P波が来て小さくゆれ始め、その後S波が来て大きくゆれます。</p> <p>・資料5 震源の近く、0秒の円の内側にあるところは、速報が出るより前に、S波が来ています。</p> </div> <p>4 文章の並び換えについて、考えたことを話し合う。</p> <p>(1) グループで話し合う。</p> <p>(2) グループで話し合ったことを基に、全体で発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・この文章には、「地球には現在、十以上の『プレート』がある」と書いてあるので資料1と関係があるはずだ。</p> <p>・文章と資料の両方に、「二つの波の伝わる速度のちがひ」と書いてあるから資料3と関係があるだろう。</p> </div> <p>5 資料2，3，4の段落の並び順について考え、話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・資料2 問い1を受けて、「地震が起こるしくみ」について詳しく説明している。</p> <p>・資料3 資料2の「緊急地震速報の研究が進められました」を受けて、問い2がある。</p> <p>・資料4 問い2を受けて、地震が発生してから緊急地震速報が届くまでを詳しく説明している。</p> </div> <p>6 本時のまとめをする。</p> <p>・ほかの説明文でも、文章の内容を正確に読み取るためには、文章と資料を関係付けることが大切である。</p> <p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) 自己評価をする。</p> <p>(2) 感想を発表する。</p> | <p>・前時の学習内容を想起させ、文章と対応した資料を使うと、読み手にとって分かりやすいということを確認する。</p> <p>・学級に掲示している学習計画表で本時の学習を確認し、見通しをもって学習が進められるようにする。</p> <p>・学習の流れを確認し、学習への意欲付けを図るようにする。</p> <p>・展開部（第6段落～15段落）を分割して配付し、文章と資料を関係付けながら読むように指示する。</p> <p>・文章の内容を正確に読み取るために、資料の説明をしている文章に線を引き、文章と資料を関係付けて考えるよう助言する。</p> <p>・資料の説明をしている文章を探し、語句と語句に注意しながら読んで並び換えるように助言する。</p> <p>・筆者の説明の仕方の工夫を捉えることができるようにするため、必要に応じて「説明文テクニックガイド」を活用することを指示する。</p> <p>・文章の並び換えでつまづいている児童には、資料に書いてある言葉から、対応する文章を探すように助言する。</p> <p>・誰もが話しやすい場にするために、3，4人の小グループで交流する。</p> <p>・司会，記録，時間，発表の役割を確認してから話し合いを進めていくようにする。</p> <p>・話し合いにうまく参加できない児童には、自分の考えと友達の考えの共通点や相違点を考えるように助言する。</p> <p>・発表を聞いている児童にも分かりやすくするため、書画カメラを活用し、グループで話し合ったワークシートを大きく映し出すようにする。</p> <p>・筆者はどのような意図で、資料を組み立てて提示しているのか考えさせることで、筆者の説明の仕方の工夫を捉えることができるようにする。</p> <p>㊦文章と資料を関係付けながら、段落を正しい順序に並び換えて読んでいる。㊦（観察，ワークシート）</p> <p>・児童から出された言葉を本時のまとめとして、黒板にまとめるようにする。</p> <p>・振り返りの観点（本時のめあて，話し合い，次時の学習）を示し，ノートに記入させる。</p> <p>・次時は「『十秒』が命を守る」の筆者の説明の仕方の工夫を捉えることを伝え，意欲を高める。</p> |

「十秒が命を守る」

説明のしかたの工夫

「天気を予想する」

【ちがうところ】

【同じところ】

【ちがうところ】

「天気を予想する」と『十秒』が命を守る」を読んで、説明のしかたの工夫を比べよう。

「説明文テクニックガイド」を作って、説明のしかたの工夫をさぐろう⑥

名前

【同じところ】
ピンクの付せん
【ちがうところ】
黄色の付せん

